

住宅取得・リフォーム助成で 地元業者の育成と定住促進を 地域産業も厳しく 調査・研究をしていく



森川 忠 議員

Q 我が町の就学援助制度の取り組みと実態は？

A 全国平均14・5%、当町5・4%であるが、各校と連絡を密にとり就学困難な児童・保護者に対し周知の徹底を図っていく。

Q 公共施設予約システムの利用状況と実態は？偏りがあるとの声も

A 情報化推進、事務の効率化などを目的に導入した。同一人による連続予約も可能であることから公平な予約ができるよう環境づくりに努める。

Q 定住自立圏構想についての所見は？

A 隣接自治体を中心地宣言をせず協定不可能です。しかし地域発展のためには周辺自治体間の連携に必要な機能確保は欠かせず、今後も周辺市町と連携協力し町づくりに努めます。

Q 商工業の活性化策で住宅取得・リフォーム奨励金で町内事業者の育成と住宅定住促進。また空き家バンクシステム創設を提案。

A 現在、国県の補助制度がないが近隣の大多喜町、一宮町など一部の自治体で取り入れている。当町も年々人口減少傾向にあり、地域産業も厳しいことから今後調査・研究を進めていきます。併せて建物耐震補強助成制度についても検討する。空き家バンク制度は産業の活性化や地域振興策として県内実施例などを参考に検討する。

Q 東陽病院の財政状況の推移と管理責任者としての町長の施策は？

A 町の一般会計からの繰入額はH20約6億円、H21は約6億8千万円、H22は約5億8千万円。今後も厳しい財政状況も推測されるが、一番必要なことは医師の確保で千葉大学への働きかけのみならず医師紹介会社を通じて働きかけをしている。その結果昨年同様の外来診療日程が確保できている。また病院と開業医の「病診連携」により3次救急の旭中央病院と、また医療と福祉の連携強化も町内2か所の特別養護老人ホームと2か所の養護老人ホームの協力病院になっている。

Q 町のホームページや広報で情報公開の徹底を。また専任職員の採用でスピーディーな更新を提案。

A トップページのリニューアルは相応の費用負担があり、職員に技術習得させ検討を図る。情報公開も迅速かつ利便性の高いものを提供する。専任職員ではなく個々の職員のスキルアップで対応したい。

大規模災害への対応

震災を教訓として 防災体制の更なる充実を図る



若梅 喜作 議員

Q 大規模災害対応への所感

A 町の対応は、地震に伴う管内域が停電の影響下に置かれたものの関係機関から発信された地震、津波情報を確認後、町防災行政無線での緊急一括放送を行い、町内全域に周知を行いました。また、町全域に避難勧告を発令しました。今回の災害を検証し、災害に強い町づくりを進めてまいります。

Q 食糧備蓄と適量について

A 防災倉庫の備蓄品の確認をしており、今回の災害で使用した備蓄品についても補充しております。炊き出し用の米については、給食センターに備蓄しており、食糧備蓄は充足しております。

Q 情報伝達向上への改善点について

A 町からの情報発信は町防災行政無線になります。デジタル化に伴う設置工事が完了した際は、屋外子局と災害対策本部の通信や、庁内電話の通話が可能となり、併せて「全国瞬時警報システム」の接続をし、今以上に充実します。その他、パソコンや携帯電話に対し、県からの「ちば防災メール」、消防組合の「防災メール」の情報を配信していますので活用してください。

Q 町民の防災意識をどう高めていくか。

A 町民の皆様には町防災行政無線や広報紙等を通じ、各種情報を発信しております。「防災訓練」に於いても防災・災害についての関心を高めるための活動をしております。今回の震災で防災意識はかなり高まったと考えます。戸別受信機も地震発生後百数十台の需要がありました。町民の皆様にも防災の意識付のテーマである「自助」「共助」「公助」のご理解をいたたくべく、啓発活動を展開してまいります。

Q 自主防災組織の必要性について

A 自主防災組織は必要であると認識しております。自治会組織が中心となる自主防災組織は、隣近所の付き合いの中で家族構成なども把握されており、どのような災害にも対応していけるものと考えます。今後は自主防災組織に関して講演会を開催し、自主防災組織の重要性、必要性を町民の皆様様に理解をいただき、多くの自主防災組織が設置出来るよう努力してまいります。

一般質問

東日本大震災による 津波の水田への海水流入について

関係機関と連携して 適正な情報提供を図る



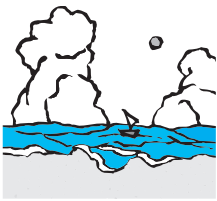
鈴木和彦議員

Q 町として水稲に対する今後の対応を検討されているか。また、連絡協議会（町、農業共済組合、山武農業事務所、東部土地改良集荷団体、稲作部会等）の設置及び除塩作業をした農家に作業費用の補助をお願いしたい。

A 3月11日に発生した東日本大震災（大津波）により、東北地方はもとより、千葉県でも九十九里沿岸地域で大きな被害を受けました。水田への海水流入に限って申し上げます。本町をはじめとして九十九里沿岸を中心に6市町で610ヘクタールが冠水し、本町でも屋形地区、尾垂地区で65ヘクタールが冠水いたしました。山武農業事務所と協議し、第一報を3月18日に、第二報を4月8日に農家組合長を通じて、被災した地域の農家に対し、水田の除塩方法などに関する資料を配布し、周知するとともに、山武郡市農協及びちばみどり農協の協力をいただき、除塩作業の効果を確認できる体制を整え、対応いたしました。

震災により一部で用水供給の遅れはありましたが、農家の方々の努力の結果、5月の連休をもって、海水の冠水した水田でも田植え

が完了いたしました。現在も、山武農業事務所と連絡を密にとりつつ、冠水した水田での水稲の生育状況を確認するとともに、土壌中の塩分濃度の変化を測定して、必要に応じて耕作者に適正な水管理等をお願いしております。しかしながら、作付はしたものの、未だに塩分濃度の高い水田も見受けられますので、関係機関と連絡会議を開催し、連携を強化して、適正な情報提供を図ってまいりたいと考えております。



子供たちの食育について

外部搬入給食の印象は 良好と受け止めている



杉森幹男議員

Q 給食の外部搬入について、保護者との話し合いはどのようなになっているのか？

A 話し合いの結果保護者の皆様から、受ける印象は良好なものでした。また、

定期的な話し合いはするつもりであるが、一部の保護者からは何か問題があるまでは、定期的な話し合いをしなくていいとの意見もありました。

業者選定の条件である、温かい給食を定時に搬入できる業者が、1社であったため随意契約で契約を締結させていただきました。

Q 東日本大震災で被災した町内の復旧作業の業者選定状況は？

A 土砂などの撤去や道路の補修等、地域・地元の業者に優先的にお願いしています。

Q 非常食の賞味期限は定期的にチェックしているのか？

A 非常食の賞味期限について都度確認しています。ただし、今回の災害では一部賞味期限の切れた水を提供してしまいました。今後このようなことがないように、徹底した管理をします。

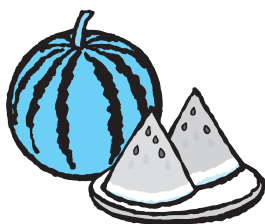
Q 旧横芝中学校跡地の避難用地として運用計画は？

A 上町区からの要望により、施設を解いていつでも避難が出来るようになってい

ます。管理についても草刈りや水やりなど地域で出来るものはお願いしたいと考えています。利用方法ですが、土地の境界確定がされていないため、境界確定をしてから次の段階に入りたいと思います。様々な提案がされておりますが、まず境界確定が先決だと考えています。



民間業者委託による給食の一例



町民、業者に信頼される入札制度に！ より公平性、透明性の高い入札の執行を！



浅野 孝 男 議員

Q 素朴な町民感覚での疑問として、最近の入札結果で落札価格が最低制限価格に対し、「奇跡的とも思える積算額」で落札されている例が数件見られます。そこで入札の工事予定価格が事前公表から事後公表へと変わったのはなぜでしょうか？

A 事前公表から事後公表に改正したのは、事前公表では談合が容易であり落札金額も高止まり傾向になると思われまます。また入札制度の策定に關しましては、委員長を副町長とし課長職13名を委員とする「横芝光町建設工事等入札契約制度検討委員会」で検討し改正しています。

Q 予定価格が事後公表なのに業者積算金額がたびたび「最低制限価格に限りなく近い奇跡的な」結果になりますと、世間一般常識では「予定価格の情報が漏えいしている」のでは？と思われまます。従いまして早急に制度改正の必要があると思いが、如何でしょうか？

A 町民、業者に信頼される入札制度に向けて、町ではより公平性、透明性の高い入札制度をめざし随時「入札契約制度検討委員会」で協議しながら入札制度の改善を図っており、これからも引き続き必要な改善を行いながら入札の執行に努めてまいります。

Q 東陽病院の空調工事と将来計画について？

A 空調工事終了後の24年度からは、病床利用率の向上を目指し、入院に繋がる外来患者さんの確保として、さまざまなPR活動を行い、また、民間的経営手法をとりいれ、経費の削減や抑制

対策を実施するなど「東陽病院運営検討委員会」をはじめ多くの方々の意見を聞きながら健全運営に努めてまいります。

Q 屋形海岸域及び栗山川河口域の被災復旧と観光資源を確保、向上させつつの防災対策について？

A 屋形海岸の海水浴場を開設し、来遊客の利便性と観光資源の確保をはかるべく、海岸への仮設進入路や駐車場の整備、仮設トイレの設置等を図っており、また津波対策とも合わせ波乗り道路の延長を山武市、匝瑳市等と協議中であります。最後に、新人議員として、町政への思いを述べさせていただきます。

Q 町長をはじめ全ての公務員は住民全体の奉仕者であり横芝光町の未来のために「至ては町民の為に」を標榜される「町長の強く正しいリーダーシップ」を求めて質問を終わらせていただきます。

町長をはじめ全ての公務員は住民全体の奉仕者であり横芝光町の未来のために「至ては町民の為に」を標榜される「町長の強く正しいリーダーシップ」を求めて質問を終わらせていただきます。

町発注の公共工事のあるべき姿は？ よりよい入札制度の検討へ



齋藤 順一 議員

Q 高齢者福祉の充実について

A 町の高齢者福祉の現状では、特別養護老人ホーム（以下「特養」）2施設、グループホーム（以下「GH」）1施設、養護老人ホーム2施設があるが、さらに3施設の建設が計画されている。（平成24年4月開設目標）。

ひとつは特養第二松丘園に50床を増設するもの。また栗山地先への社会福祉法人による80床の特養の新設計画のほか、既存のGHひかりが原方地先に移転し、18床での新設も決定済である。これにより今後、本町の介護保険施設は、充足されるものと考えられる。

高齢者の安心な暮らしを守るため、介護サービスの質の向上に努め、地域の日常的な交流や支援の活動を育て、高齢者が生きがいを持つて元気に活動できる社会環境の充実を図りたい。

Q 公共工事の入札について、町民の誰が見ても公平で公正な入札方法とし、町長の目指す、「ガラス張りの町政」に近づくことを切に望むものであるが、「予定価格等の事後公表」には、どのようなメリットと目的があるのか。また、町発注の公共工事が今後目指すものは。

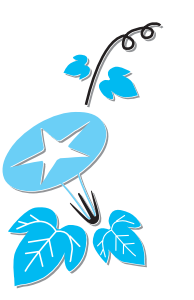
A 町では、最低制限価格でのくじ引きや、落札率の高止まり等の事例が見受けられるようになったため、これらを改善するメリット

のある「予定価格等の事後公表」を、平成22年9月から、設計金額一千万円超の建設工事と、設計金額五百万円超の委託業務を対象に実施することとし、「事前公表」と「事後公表」を併用することとした。

昨年度の入札結果のうち工事部門の落札率では、工事全体の平均落札率が36件で89・9%、事前公表29件の平均落札率が92%、事後公表7件の平均落札率が81・3%となっており、一応の効果が出ているものと判断する。

公共工事は、事業の優先度と地域のバランスを考慮しつつ厳選し、公正で透明性の高い契約制度のもと、質の高い成果を得たいと考えている。

入札制度については、公平性・透明性の高い入札制度を目指し、電子入札など、よりよい入札制度を検討していく。



民生文教常任委員会 町内施設視察研修会



健康づくりセンタープラム等、町内3施設を視察

6月10日(金)午前10時から民生文教常任委員会の視察研修会を実施しました。今回の視察場所は①健康づくりセンタープラム、②地域活動支援センター(たんぼぼ)、③町立横芝保育所の3か所で、民生文教常任委員会に関係する町内主要施設の事業内容等を再認識することを目的とし実施したものです。

地域に不可欠な育児・健康・福祉施設について短い時間ではありましたが、事業内容を把握すると共に、子供たち等の様子をうかがうことができました。

議会用語

委員会

議会の内部組織として、本会議における予備的審査、調査機関として設置されるものです。本町議会では、議員は3つの常任委員会に分かれて活動します。このほか、議会運営委員会、必要がある場合に設置される

委員長報告

特別委員会があります。

委員会に付託された議案等の審査が終了したときは、報告書をつくり委員長から議長に提出します。また、委員長は、本会議において、委員会での審査の経過と結果を報告します。

意見書

町議会は、地方自治法に

採択・不採択

議決のうち、請願、陳情について、これを肯定する議会の意思決定を採択、否認する決定を不採択といいます。

議会日誌

5月	6月	7月
2日 議会議員全員協議会	1日 第1回千葉県町村議会議長会定例会	1日 郡議長会議員研修会
10日 議会臨時会	2日 町観光協会通常総会	4日 町夏期観光安全対策本部会議
16日 山武地域医療協議会	6日 山口県光市長来町	5日 千曲市議会来町
17日 町農業振興会第5回通常総会	8日 議会定例会(初日)	6日 町土地家屋評価審議会
18日 町老人クラブ連合会定期総会	10日 民生文教常任委員会町内施設視察	7日 山武郡市環境衛生組合議会第1回臨時会
19日 山武郡市議長会臨時総会	11日 光中学校体育祭	8日 町安全会議
19日 退任議員感謝状贈呈式	12日 横芝地区神社総代会総会	8日 海岸クリーン運動
20日 例月出納検査	14日 議会定例会(2日目)	12日 議員視察研修会(ナリコ)
23日 広報員会	16日 町介護保険運営協議会	14日 東日本大震災チャリティイベント実行委員会
26日 議会運営委員会	町観光協会役員会	14日 主要地方道飯岡一宮線バイパス建設促進期成同盟会総会
26日 町商工会第5回通常総会	20日 姉妹都市・町(千曲市・松田町)表敬訪問	16日 行政総務員連絡会納涼会
27日 成田山上陸聖地報恩大典	21日 例月出納検査	16日 行政総務員連絡会納涼会
28日 町食肉センター獣魂祭	22日 町夏期農業改良共進会	16日 行政総務員連絡会納涼会
29日 東陽小学校屋内運動場地元説明会	同日 同盟会監査	16日 行政総務員連絡会納涼会
30日 成田空港周辺地域共生財団評議員会	芝山鉄道延伸連絡協議会総会	20日 例月出納検査
31日 東陽小学校屋内運動場安全祈願祭	25日 千葉県神社総代会海匝銚支部総会	20日 例月出納検査
人権教室	27日 議員全員協議会	28日 郡議長会視察研修
光ファイバー網整備再要望	29日 町養豚部会肉豚共進会	29日 郡議長会視察研修
	29日 町養豚部会肉豚共進会	29日 町議長会臨時会